

# Web日記拡大版

平成27年12月4日(金)

## 喫煙飲酒防止教室



本校学校薬剤師である大館市立総合病院薬剤師佐々木慶氏を講師に招いて、6年生を対象に喫煙飲酒防止教室を開催しました。授業は2部構成で行われました。

第1部では、たばこの煙に含まれる有害物質は、運動能力の低下を招き、息切れやめまいを引き起こすほか、思考力の低下を招くなどの害があることを教えていただきました。肌や臓器の比較写真が示されると、子どもたちは驚きの表情を見せていました。

第2部では、飲酒によって、脳が未完成な未成年者はアルコールによる悪影響が残ること、大人でも多量にお酒を飲むと脳が萎縮してしまうことなどのお話がありました。萎縮した脳の比較写真が映し出されると、ここでも子どもたちは驚いていました。子どもの時は、記憶力が低下するので家族などに勧められてもお酒を飲まない。お祭りなどおめでたいときでも飲酒しない。大人になっても飲む量を守り、決して一気飲みはしないということを教えていただきました。

保健の授業でも喫煙や飲酒について学習していますが、今日はより専門的な知識を得ることができました。

### 講師の先生への質問コーナー

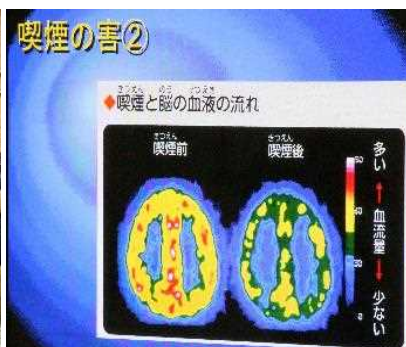


「たばこの煙は周囲の人への影響があると話しましたが、子どもにも影響があるのですか。」

「たばこの煙は妊婦だけでなく、煙が広がるので、その場にいる人全員に悪い影響があります。ですから、子どもでもたばこの煙があるところにいると影響があります。」



真剣な表情で聞く



たばこの煙が与える影響

### 授業後の感想から

「家ではおじいちゃんがお酒をのんでいます。おじいちゃんからは、「大人になったら、いっしょにお酒をのもうな。」とよく言われます。大人にとっては一種のコミュニケーションかもしれませんが、お酒は体にたくさんの害を与えることが、今日の喫煙飲酒防止教室で分かったので、自分自身はあまりお酒をのまないように気を付けたいと思います。」